Shokuhin News Neo -2013 December-

神戸大学大学院 農学研究科 生命機能科学専攻 食品・栄養化学研究室
〒657-8501　兵庫県神戸市灘区六甲台町 1－1　電話 078-803-6553（自然科学総合研究棟）5836（農学部 F 棟）
e-mail: shoku@kobe-u.ac.jp　http://www.kobe-u.ac.jp/shokuhin

News

日本農芸化学会　関西支部 支部例会（第482回講演会）

12月7日（土）、神戸大学農学部にて日本農芸化学会　関西支部支部例会が開催された。本研究室からは大原佳樹（M2）、Jarukan Lamubol（M1）、横山友紀（M1）が発表を行い、また水野雅史教授が幹事校代表ということもあり数人の学生が学会の準備などを手伝った。横山は見事”若手優秀発表賞”を受賞し、研究室一同で祝福した。

若手優秀発表賞を受賞し喜ぶ横山（M1）。今後の研究の進展に更なる期待が寄せられる。

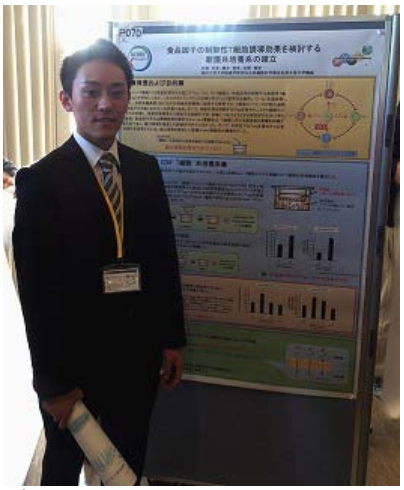
第42回農学部 六甲山 20 Km マラソン大会

12月21日（土）、土壌学研究室主催のマラソン大会が行われた。本研究室からは合計14人がエントリーし、全員が表彰式までに無事に完走した。大浦圭吾（M1）が19位にランクイン、藍原祥子助教はなんと女性教員で1位というすばらしい結果を残した。マラソンの後は例年通り温泉で疲れた身体を癒し、打ち上げで互いの頑張りを労い合った。

山頂での一枚。左から宮本岳（B4）、雉子谷百合江（M2）、谷野有佳（D2）、岩見志歩（M1）、横山（M1）、高間義晴（B4）、大浦（M1）、古田（環境分子物理化学 B4）、小田あかね（M1）、黄達（M2）、大原（M2）。気合十分な様子が見て取れる。

若手フロンティア研究会 2013

12月25日（水）、研究基盤センターを利用している学生の発表の場である若手フロンティア研究会が神戸大学百年記念館にて開催された。本研究室からは大浦（M1）がエントリーし、自身の研究成果について発表を行うとともに活発な討論を繰り広げた。今回の研究会について大浦にインタビューを行ったところ、「様々な分野の研究者が集まっていて、とても勉強になった」とのコメントをもらった。今回の経験を生かして更なる活躍を見せてもらいたい。



ポスターの前に佇む大浦（M1）。討論を通じ、新たな発見は得られたのだろうか。

忘年会

12月26日（木）、月例報告会の後、2013年の研究室生活を締めくくるべく忘年会が行われた。今年1年の苦労をきれいさっぱり忘れ、また来年からもそれぞれがより良い1年を過ごせるようにと杯を交わし美食に舌鼓を打った。

宴会を楽しむ女性陣。左から山下紗枝（B4）、岡早紀子（B4）、宋苑昤（D2）、橋本佳奈子（B4）、雉子谷（M2）。

論文・学会発表

学会発表）

日本農芸化学会 関西支部第482回講演会（神戸）
2013年12月7日

〇大原佳樹、橋本堂史、藍原祥子、金沢和樹、水野雅史「フコキサンチノールが誘導するアポトーシスはアクチン重合を伴う」講演要旨集 p.4

〇Jarukan Lamubol、橋本堂史、林多恵子、奥田洋、水野雅史「*Lactobacillus plantarum* 22A-3による腸管炎症抑制効果の作用機序の解明」講演要旨集 p.5

〇横山友紀、橋本堂史、水野雅史「経口摂取を想定した抗アレルギー効果を有する食品因子探索法の確立」講演要旨集 p.6

若手フロンティア研究会2013

〇大浦圭吾、橋本堂史、水野雅史「ナイーブ T 細胞を制御性 T 細胞へと分化誘導させる食品因子の探索」概要集 p.70

編集後記

今月より前任者の滝沢さんに代わりまして食品ニュースを書かせていただきます、嘉正と申します。まだ研究室に入ってから 1 年も経っていない未熟者ですが、ニュースを書くことを通してより深くこの研究室のことを知っていけたら良いなと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

嘉正雄太(B4)